

令和元年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(公財)札幌市芸術文化財団	所管課	市民文化局文化部文化振興課
基本財産	81,212千円	記入者	担当 白川 電話 011-211-2261
設立年月日	昭和61年(1986年) 4月1日	本市出資額	40,606千円 (出資割合 50.0%)
設立・出資目的	札幌から新しい芸術文化の創造を目指し、芸術文化に関し、広く一般に、参加と鑑賞の機会を提供するとともに、優れた創作活動の奨励を図り、もって市民の豊かな情操の涵養と我が国の芸術文化の向上発展に寄与することを目的とする。	出資年月日	昭和61年(1986年) 4月1日
代表者	理事長(非常勤) 秋元 克広(市長)	沿革	昭和61年 (財)札幌芸術の森設立 平成11年 (財)札幌市教育文化財団と統合し、 平成19年 (財)札幌市芸術文化財団へ名称変更 平成25年 本市出資団体改革プランにより、(財)札幌彫刻美術館と統合 公益財団法人へ移行
主な出資者	① 札幌市 (50.0%) ② 札幌市芸術文化財団 (43.8%) ③ 北海道新聞社 (0.6%) ④ 毎日新聞社北海道支社 (0.6%) ⑤ 朝日新聞社北海道支社 (0.6%) ⑥ 読売新聞社北海道支社 (0.6%)	団体所在地	〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75番地 電話 011-521-5114

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 札幌芸術の森及び本郷新記念札幌彫刻美術館の管理・運営事業 (6ページ)	② 札幌コンサートホールの管理・運営事業 (8ページ)
【芸術の森】文化芸術都市さっぽろのシンボルとして施設の管理運営を行うとともに、多数の展覧会や観賞会、サポポロ・シティ・ジャズ等の事業を主催し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい文化芸術の場を創出する。 【彫刻美術館】施設の管理運営を行うとともに、多くの展覧会を開催し、彫刻を中心とした美術の振興を図る。	国内有数の音響を誇る音楽専用ホールとして、施設の管理運営を行うとともに、著名演奏家の招聘や親しみある演奏会の開催など、数多くのコンサートを主催し、音楽文化環境の創造や音楽文化の普及振興を図る。
③ 札幌市教育文化会館の管理・運営事業 (10ページ)	④ 札幌市民ギャラリーの管理・運営事業 (12ページ)
音楽、舞踊、演劇、美術等の舞台芸術の制作及び発表の場として、施設の管理運営及び多彩な事業を展開し、本市の舞台芸術の振興を図る。	各種展覧会の拠点会場として、市民の使用に供するために施設の管理運営を行い、本市の文化芸術の振興を図る。
⑤ 札幌市民交流プラザの管理・運営事業 (13ページ)	⑥
舞台芸術、音楽、美術等の企画、制作及び実施等を通じて、文化芸術活動及び生涯学習の振興と人々の来訪及び交流の促進を図ることにより、市民の創造性を育むとともに、市民生活の質の向上と地域のにぎわいの創出に寄与する。	
(2) 総支出に占める事業支出割合	95.0% (主要事業支出合計 3,488,998千円 ÷ 総支出 3,672,859千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	当団体は、文化芸術施設の管理運営と多彩な主催事業の実施により、市民が優れた文化芸術に親しむ機会や環境を数多く提供しており、設立目的に対する事業効果は高い。今後も、団体の持つ専門性を活かして他団体や施設と連携を図ることで、一層の事業効果を生み出していくことが求められる。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	幅広い分野において多彩な文化芸術事業を展開するとともに円滑な施設運営が行われている。これらは、文化芸術に対する市民の関心や理解を深めることに寄与するものであり、当団体の設立目的に合致した事業展開がなされていると評価できる。

3 団体職員・構成員等

平成31年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期	
役員					13	10歳代	0	40歳代	24	理事	2年
常勤理事	2	0	0	0		20歳代	28	50歳代	15	監事	4年
常勤監事	0	0	0	0		30歳代	35	60歳代	0	代表権のある役員 の就任年月	
非常勤理事			9			平均年齢		37.0歳		理事長	R1.6
非常勤監事			2							副理事長	H30.7
職員					236	職員総数の推移(人)					
常勤管理職	4	5	11	4		H29.4.1時点	208				
常勤一般職	1	3	91	81		H30.4.1時点	216				
非常勤職員			36								

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分			H29年度決算	H30年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	2,733,873	3,770,069	(100.0%)	(+1,036,196)
			経常費用(b)	2,779,475	3,672,859		(+893,384)
			うち管理費等(c)	14,378	13,054	(0.3%)	(▲1,324)
			うち人件費(d)	979,203	1,101,156	(29.2%)	(+121,953)
			当期経常増減額(e)	▲45,602	97,210		(+142,812)
			当期正味財産増減額(f)	▲51,601	86,435		(+138,036)
	貸借対照表	資産(g)	流動資産(h)	771,463	1,113,216		(+341,753)
			固定資産(i)	1,178,657	1,173,052		(▲5,605)
			うち基本財産(j)	81,212	81,212		(0)
			負債(k)	535,918	785,631		(+249,713)
		流動負債(l)	流動負債(l)	410,819	651,243		(+240,424)
			固定負債(m)	125,099	134,388		(+9,289)
			正味財産(n)	1,414,202	1,500,637		(+86,435)
		借入金残高(o)	0	0		(0)	

H30年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	経常収益(a)は、市民交流プラザ開業に伴い、こけら落とし公演をはじめとした主催公演の集客、ならびに協賛制度に伴う広告料収益が好調だったこともあり、前年度より増加した。
b	経常費用(b)も、市民交流プラザ開業に伴い、施設の管理運営費用等が増加したため、前年度より増加した。
n	当期経常増減額(e)は97,210千円余の増となった。ここから法人税等が差引され、結果として正味財産(n)は86,435千円余の増となった。この剰余金は、R1年度に市民交流プラザを通年で開館することによる運営費用に充当する。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	H29年度決算	H30年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	32,726	41,155	(+8,429)
市委託料	1,973,005	2,794,337	(+821,332)
市業務委託料	0	8,802	(+8,802)
うち随意契約	0	8,802	(+8,802)
市指定管理費	1,973,005	2,785,535	(+812,530)
うち非公募	1,899,033	2,711,508	(+812,475)
(参考) 再委託額	909,717	996,378	(+86,661)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(46.1%)	(35.7%)	(▲10.5%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	399,172	499,740	(+100,568)
うち非公募	379,502	480,253	(+100,751)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		H29年度	H30年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-j)	1,332,990	1,419,425	(+86,435)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	72.5%	65.6%	(▲6.9%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	187.8%	170.9%	(▲16.8%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	83.3%	78.2%	(▲5.2%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	13,144千円	17,454千円	(+4,310千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	35.8%	29.2%	(▲6.6%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	69千円	60千円	(▲9千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	0.5%	0.3%	(▲0.2%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	84.5%	86.0%	(+1.4%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	88.0%	88.5%	(+0.5%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	健全性については、剰余金、自己資本比率、流動比率、固定比率及び借入金依存度はいずれも良好な値を維持しており、健全性は高い。 生産性においては、職員一人当たりの経常収益が増加し、昨年度と比較して改善し、いずれも良好な値となっている。 また、自立性については、市文化芸術施設の管理運営等を主要事業としており、依存度、財政的関与割合と本市への財政的依存度が高い。このことから、本市以外の助成金や協賛金の獲得など、自立性の向上を図る必要がある。					

(注1)市収入=市補助金・交付金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の進捗評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○適正な市出捐金の比率							
①	市出捐金	目標	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)
		実績	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	
②	市出捐金比率の引き下げ	目標	—	—	—	—	検討
		実績	—	—	—	—	
評価	当団体は、札幌芸術の森など5施設の管理運営に加え、平成28年度からは平成30年10月開設の札幌市民交流プラザの指定管理者として準備業務を担った。開設準備に伴い一定期間本市派遣職員を増員するなど、本市が積極的に当財団に関与しており、出捐金についても当面は現行の比率を維持していくことが妥当である。						

(2) 人的関与

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○札幌市民交流プラザの円滑な開設準備に向けた人的関与							
①	市派遣職員数	目標	8	12	12	9	7
		実績	6	8	12	12	
評価	平成30年度は、本市職員12人を派遣し、札幌芸術の森の統括責任者としての管理運営や、札幌市民交流プラザの開設準備業務などに従事した。R元年度は、開設準備業務の終了により、前年度比較3名減で9名の本市職員を派遣している。本市の文化芸術施策を推進していくためには、当該団体との連携を密にして施設の管理運営や各種事業を実施する必要がある、現状における人的関与は妥当である。						

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○理事・評議員就任を通じた団体への関与							
①	市職員の理事就任数 (7月1日現在)	目標	2	2	2	2	2
		実績	2	2	2	2	
②	市職員の評議員就任数 (7月1日現在)	目標	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	
評価	市長が理事長、市民文化局長が理事、市民文化局文化部長が評議員に就任のうえで団体の経営に関与する体制を維持しており、妥当である。						

(3) 団体の活用

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	
No.	指標名							
○「札幌市文化芸術基本計画」の実現に向けた取組の拡充								
①	文化芸術施設（5施設）の利用者数	目標	1,668,233人	1,733,000人	1,743,000人	1,753,000人	1,763,000人	1,773,000人
		実績	1,668,233人	1,589,661人	1,409,626人	1,438,692人		
②	札幌市民交流プラザの利用者数【新施設】	目標	—	—	—	500,000人	500,000人	1,000,000人
		実績	—	—	—	1,129,107人		
評価	市民交流プラザについては、想定を上回る来館者数があり、好調であるものの、その他の5施設については、利用者数の減少が続いており、目標達成には至っていない。利用者数減の理由や貸館利用者のニーズについて分析を進め、その結果を踏まえて早急に利用促進を図る必要がある。							

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○利用料金収益の増加							
①	5施設の利用料金収益の額	目標	428,072千円	432,353千円	436,676千円	441,043千円	445,453千円
		実績	424,086千円	406,805千円	399,172千円	399,952千円	
②	札幌市民交流プラザの利用料金収益の額【新施設】	目標	—	—	106,064千円	261,085千円	261,085千円
		実績	—	—	—	99,788千円	
評価	利用料金収入についても減少が続いており、目標は達成していない。引き続き、利用者数と同様、収入減の要因についてしっかりと分析を図り、その結果に応じた改善策を実行に移すことで、目標達成に努める必要がある。						

(5) 団体統制

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○組織体制の強化							
①	専務理事職の設置	目標	設置	設置済	設置済	設置済	設置済
		実績	—	設置済	設置済	設置済	
②	市への研修派遣職員数	目標	1	1	1	1	1
		実績	0	1	1	0	
評価	札幌市民交流プラザの指定管理業務開始等に伴う業務量の増加及び組織規模の拡大に対応するため、平成28年7月に常勤の執行理事である「専務理事」を新たに設置した。また、本市との連携を一層密にするため、平成28年度から財団正規職員の本市への研修派遣を行い、人材育成に努めたが、平成30年度はプラザ開設等のため、派遣職員数が0となっている。						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○雇用拡大への取組							
①	常勤職員数（3月1日現在）	目標	151	161	175	178	180
		実績	134	162	182	197	
評価	札幌市民交流プラザの管理運営業務に対応するため、28年4月に札幌市民交流プラザ開設準備室を設置したことで常勤職員が増加しており、市内雇用拡大に寄与したものと評価する。						

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○障がいのある方の自立支援							
①	障害者就労施設からの物品調達及び業務委託件数	目標	8	9	9	10	10
		実績	8	12	12	20	
②	障がいのある方の雇用者数	目標	4(法定3)	4(法定3)	4(法定4)	4(法定4)	4(法定4)
		実績	2(法定2)	3(法定3)	3(法定3)	2(法定4)	
評価	平成30年度は、障害者就労施設からの物品調達及び業務委託件数が目標を上回っているが、障がいのある方の雇用者数は法定雇用率を下回っており、改善が求められる。						

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○子育て職員への支援							
①	子育て職員のための規程制定	目標	調査	調査	規程制定・施行	制定済	制定済
		実績	—	制定済	制定済	制定済	
評価	計画を前倒して規程を整備するなど、職員が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを積極的に推進していることは評価できる。						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	http://www.sapporo-caf.org/
Eメールアドレス	secretariat@sapporo-caf.org
【経営状況等】	
<input checked="" type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿
<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書
<input type="checkbox"/> 団体機構図	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書
<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画	<input checked="" type="checkbox"/> 予算書
【事業情報等】	
<input type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報
<input type="checkbox"/> その他（	）
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行：1. 芸術の森 札幌芸術の森ガイドマップ、もりくる、クラシト、クラフト	
2. コンサートホール KitaraNEWS、年間主催公演スケジュール	
3. 教育文化会館 情報誌「らく」、告知ペーパー「act」	
4. 市民ギャラリー 札幌市民ギャラリー 展覧会のご案内	
5. 市民交流プラザ WAVE TIMES、PLAS（イベントスケジュール）	

※特記ない限り、本評価シート情報は令和元年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) 札幌芸術の森等の管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課：市民文化局文化部文化振興課	担当：白川	電話：011-211-2261
(1)事業内容	<p>【札幌芸術の森】 ①施設の管理運営 ②主催事業 (1) 音楽・舞台芸術事業 ・発信：野外ステージ等を使用した「サッポロ・シティ・ジャズ2018」、「ノースジャムセッション」等 ・育成：「第19期札幌ジュニアジャズスクール」「札幌芸術の森バレエセミナー2018」、「北海道グループキャンプ2018」 ・振興・交流：「パークジャズライブ」「芸森アートマーケット2018」 (2) 芸術の森美術館事業 ・展覧会：「リサ・ラーソン展～スウェーデンのすてきな芸術一家～」、「北海道陶芸会50周年記念展「陶・創造者たちー北の大地と共にー」」、「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」、「札幌美術展 五十嵐威暢の世界」、「札幌芸術の森美術館コレクション選 新収蔵記念 林縁から」、「中庭インスタレーション 五十嵐威暢 無意識の庭」 計6本 ・野外美術館：国内外64作家74点の彫刻を展示。ボランティアによる作品解説や、わん・わん・よい日、野外美術館かんじきウォーク等を実施。 ・教育普及事業：佐藤忠良子どもアトリエワークショップ、子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」 ・利用促進：ミュージアムショップ運営 ・人材育成：博物館実習生（札幌市立大学他）受け入れ、協力員による教育・資料整理 (3) 工芸・工房事業 ・展覧会：「0さいからのげいじゅつのもり」、「北と手仕事 このみち」、「第18期工芸館常設展示事業」等 計6本 ・普及事業：工芸・版画講習会（体験講習会、技術習得講習会等）、ふらっとクラフト体験 等 (4) 利用促進他 「芸森スプリングフェスタ」、「芸森バースデー」、「雪あかりの祭典」、近隣地域・各団体との連携事業 等</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】 ①施設の管理運営 ②主催事業 (1) 展覧会事業 ・「ふれる彫刻 手でみるアート」、「子ども育成事業「わくわく★アートスクール」作品展」、「オペラの衣裳と舞台美術」「本田明二展」等 計9本 (2) 本郷新記念札幌彫刻賞 ・第2回本郷新記念札幌彫刻賞受賞記念展 (3) 貸館事業 (4) 普及事業 ・子どもの美術体験事業「ハロー！ミュージアム」、美術館めぐり、子ども造形教室（夏休み・冬休み）、一般向け造形教室、ミュージアムコンサート等 (5) 協力事業 ・学校教育への協力（三角山小学校ほか、総合的な学習の時間や社会科の授業、職場体験や部活動での活動に協力） (6) 連携事業 ・円山・宮の森散策マップ ・彫刻セミナー ・結い本郷新「無辜の民」と石狩浜 (7) 利用促進 ・サンクスデー（6月、11月）</p>		市指定管理費(非公募) 656,593 市補助金 11,125
(2)事業目的	<p>【札幌芸術の森】 芸術文化都市さっぽろのシンボルとして、個性ある新しい札幌文化を育てることを目指し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい芸術文化の場を創出し、札幌が誇りとする豊かな大自然と、都市、芸術、文化が調和した環境の形成を目的とする。</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】 本市ゆかりの彫刻家である本郷新の業績を顕彰するとともに、本市における彫刻を中心とした美術の振興を図ることで、本市の文化芸術の振興に寄与することを目的とする。</p>		
(3)事業開始	<p>【札幌芸術の森】 昭和61年(1986年)7月27日 【本郷新記念札幌彫刻美術館】 昭和56年(1981年)6月29日</p>		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	H29年度	H30年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		823,620 (30.1%)	849,800 (31.1%)	(+26,180)
	市補助金・交付金・負担金	11,125	11,125	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	624,223	656,593	(+32,370)	
	市施設利用料金収入	51,037	44,049	(▲ 6,988)	
	自主事業収入(補助金除く)	88,403	83,069	(▲ 5,334)	
	その他収入	48,832	54,964	(+6,132)	
	費用(支出)	897,364	909,059	(+11,695)	
	事業費	863,912	869,319	(+5,407)	
	管理費等	33,452	39,740	(+6,288)	
	収支差	▲ 73,744	▲ 59,259	(+14,485)	
	収支比率	91.78%	93.48%	(+1.70%)	
(2) 活動指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	39事業	37事業	37事業	39事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	95事業	77事業	82事業	75事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	19事業	16事業	17事業	16事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	15事業	13事業	16事業	17事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	35事業	35事業	37事業	38事業
⑥					
(3) 成果指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	芸術の森 総入園者数(人)	433,044	450,000	351,955	505,000
②	芸術の森 利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	89.4	95.0	90.5	95.0
③	彫刻美術館 入館者数(人)	15,235	14,000	16,959	14,000
④	彫刻美術館 利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	97.4	95.0	96.0	95.0
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>芸術の森の総入園者数が前年度実績、当年度目標とも下回っていることから、その要因を十分に分析したうえで利用状況の改善を図る必要がある。一方、彫刻美術館は目標を上回る入館者数を達成するとともに利用者満足度も高水準であり評価できる。</p> <p>主催事業について、「ミュージックテントライブ」に代わる取組として「シアタージャズライブ」を初開催したほか様々な普及啓発事業を実施し、また、彫刻美術館では主催展覧会に合わせた多彩な関連事業の実施により、多くの市民に多彩な文化芸術に親しむ機会を提供しており高く評価できる。</p>
(2) 収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 要改善</p> <p>委託費や修繕費などの支出は前年度を上回ったものの、収入がそれ以上に増加した結果、収支差は前年度と比べて改善したものの、依然としてマイナス決算となっている。安定的な施設運営を行っていくために、事業全体のあり方についての再検討を含め、収支改善に向けた取り組みを進めることが必要である。</p>

事業評価 (2) 札幌コンサートホールの管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 白川	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	<p>①施設の管理運営</p> <p>②主催事業</p> <p>(1)音楽鑑賞事業<海外・日本のトップクラスの演奏家の招聘等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラ&合唱シリーズ (ハイドン・フィルハーモニー、ダニエル・ハーディング指揮 パリ管弦楽団) ※トン・コープマン指揮 アムステルダム・バロック管弦楽団&合唱団 J.S.バッハ「ミサ曲 ロ短調」は、北海道胆振東部地震の影響により、公演中止となった。 ・ソリストシリーズ (ロレンツォ・ギエルミ オルガンリサイタル、内田光子ピアノリサイタル、安永徹&市野あゆみ ブラームス ピアノとヴァイオリンのためのソナタ全曲演奏会、マイクロシュ・ペレーニ チェロリサイタル) ・室内楽シリーズ (バルチャ弦楽四重奏団、ハンガリーの俊英たち フェロップ・ラーンキピアノリサイタル) <p>(2)音楽普及事業</p> <p><オルガン事業、札幌交響楽団公演、ランチタイムコンサート、地元演奏家との協力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルガン事業 (オルガンワンコインコンサート/オルガンサマーナイトコンサート、オルガンウィンターコンサート、オルガンコンサートシリーズ/マルタンさんのオルガン・ファンタジー!、Kitaraのバースデー、マルタン・グレゴリウスフェアウェルオルガンリサイタル、シモン・ボレノデビューリサイタル、クリスマスオルガンコンサート) ・札幌オーケストラシリーズ (きがるにオーケストラ、Kitaraのクリスマス、Kitaraのニューイヤー) ・Kitaraランチタイムコンサート (ウィーンの時間はゆったりと、市民交流プラザ開館記念連携事業 IL DEVU、春をいろどる和楽器の調べ) ・地元音楽家の活動支援・地元音楽団体との連携事業 (若い芽の音楽会、Kitaraアーティスト・サポートプログラム/I 北濱佑麻&徳田貴子 ピアノデュオ・コンサート〜アメリカの風を感じて〜、II Bouquet de Corazon, Kitara室内オペラ「ヘンゼルとグレーテル」、Kitara&札幌音楽家協議会連携プロジェクト 札幌の奏響II) ・ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると (きがるにオーケストラ、スプリング・コーラスセレクション!〜中学生スペシャル、マルタンさんのオルガン・ファンタジー!、若い芽の音楽会、3歳からのコンサート、Kitara子どもスタッフ〜レセプションに挑戦、Kitara地下探検隊、楽器体験コーナー、オカリナ&缶バッジづくりコーナー) <p>(3)教育・人材育成事業</p> <p><エデュケーションプログラム、アウトリーチ事業、セミナー事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エデュケーションプログラム (ひろがる!つたわる!オルガンのひびき、Kitaraファースト・コンサート) ・アウトリーチ事業 (学校DEカルチャー オルガンアウトリーチコンサート、第2回本郷新記念札幌彫刻賞受賞記念 加藤宏子展開連事業 ミュージアム・コンサート Kitara専属オルガニスト チェンパロ コンサート、札幌芸術の森&札幌コンサートホール連携事業 札幌芸術の森美術館 ミュージアムコンサート、SCARTS&Kitara連携事業 札幌コンサートホール専属オルガニスト シモン・ボレノ トークイベントin SCARTS) ・セミナー事業 (第22回リスト音楽院セミナー、オルガンセミナー事業) ・北海道教育大学、札幌大谷大学連携事業 (若い芽の音楽会、パイプオルガン特別講義) <p>(4)全国ホール等とのネットワーク事業</p> <p><専属オルガニスト道外公演、他都市や他ホールとの連携事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸芸術館 パイプオルガン・プロムナード・コンサート、サントリーホールオルガン・プロムナード・コンサート、すみだトリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・コンサート2018 ・国内ホールとの情報交換、共同企画(コンサートホール企画連絡会議) <p>(5) 利用促進・PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演広報(KitaraNEWSの発行、ソーシャルメディアの活用、マスメディアによる情報提供、新聞、音楽専門誌、タウン誌、フリーペーパー等への広告掲載、地下鉄駅構内電照広告掲出) ・公開リハーサル付防災訓練・見学ツアー・ゆきあかりin中島公園 <p>(6) チケット等販売事業</p> <p>(7) Kitaraボランティアとの連携</p>		<p>市指定管理費(非公募) 615,050</p> <p>市補助金 18,915</p>
(2)事業目的	音楽の鑑賞その他音楽に関する活動の場を提供すること及び音楽に関する事業を行うことにより、音楽芸術の振興及び音楽を通じた人材育成・国際交流の推進を図ることを目的とする。		
(3)事業開始	平成9年(1997年)7月1日		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	H29年度	H30年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		961,842 (35.2 %)	908,660 (33.2 %)	(▲ 53,182)
	市補助金・交付金・負担金	18,915	18,915	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	617,915	615,050	(▲ 2,865)	
	市施設利用料金収入	179,035	176,266	(▲ 2,769)	
	自主事業収入(補助金除く)	106,453	85,871	(▲ 20,582)	
	その他収入	39,524	12,558	(▲ 26,966)	
	費用(支出)	949,610	935,219	(▲ 14,391)	
	事業費	869,239	850,313	(▲ 18,926)	
	管理費等	80,371	84,906	(+4,535)	
	収支差	12,232	▲ 26,559	(▲ 38,791)	
	収支比率	101.29%	97.16%	(▲ 4.13%)	
(2) 活動指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	23事業	17事業	19事業	13事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	104事業	76事業	80事業	73事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	18事業	17事業	17事業	13事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	27事業	28事業	30事業	23事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	25事業	23事業	26事業	24事業
⑥					
(3) 成果指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	利用率(大ホール) (%)	85.3	87.0	83.9	87.0
②	総利用人数(人)	338,921	380,000	343,888	380,000
③	利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	94.6	95.0	93.6	94.0
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>総入場者数、施設稼働率の減やそれに伴う利用料金収入等の減については、市民交流プラザ開館や北海道胆振東部地震の発生などの特殊事情はあったものの、今後、改善に向けた取り組みが求められる。各主催事業では質の高い多様な演奏会を展開したほか、子供向けのアプローチや地元音楽家への活動支援など、音楽文化の普及・人材育成にも引き続き取り組むなど、札幌市の施策に沿った事業が展開されている。加えて、コンサートの開催時間の工夫やアウトリーチコンサートの実施など、新たな音楽ファン獲得に向けた取り組みを進めていることは高く評価できる。</p> <p>このほか、利用者意見を基にした業務改善や施設の適切な管理によるエネルギー使用量の減少など、細かな取り組みを日々継続していることも評価できる。</p>
(2) 収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>純利益は赤字となっているものの、北海道胆振東部地震の影響やガス料金単価の値上がりなどやむをえない事情によるところが大きい。長期的に見ても収入は減少傾向にあるため、引き続き、収入確保に向けた取り組みを進める必要がある。</p>

事業評価 (3) 札幌市教育文化会館の管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 白川	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	①施設の管理運営 ②主催事業 (1) 芸術文化を創造し、発信する事業 ・良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供（教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」、松竹大歌舞伎、野村萬斎スーパー狂言ライブ、人形浄瑠璃文楽、文楽セミナー、演劇「書を捨てよ町へ出よう」） ・札幌の舞台芸術創造・発表事業（教文演劇フェスティバル2018、オペラ事業） ・文化施設、文化団体、文化芸術NPOとの協働事業（人形劇フェスティバル2019、子ども舞踊祭、演劇シーズン2019-冬- さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座公演） (2) 芸術文化の普及振興のため、芸術文化に対する育成・助成・支援を行う事業 ・子どもたちのための文化芸術活動の支援事業（子ども演劇ワークショップ 小・中学生のための能楽入門ワークショップ、夏休みこども体験新喜劇演劇ワークショップファシリテーター講座、子どものためのオペレッタワークショップ） ・市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業（教文13丁目笑劇一座、コミュニティダンスワークショップ） ・学校教育における芸術文化活動の支援（小中高生の演劇発表会、音楽会） ・将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集・提供（公立文化施設等とのネットワーク、専門家集団との交流やメディア活用、アンケート実施） (3) 札幌市民芸術祭 ・市民劇場、新人音楽会、市民合唱祭、市民美術・書道展など ・札幌市、実行委員会、当団体が主催。事務局は当団体 ・特に優れた個人・団体に「札幌市民芸術祭大賞」「同奨励賞」を贈呈 (4) 広報活動（ホームページ、教文情報誌「楽」・「act」の発行、メディアを通じた情報提供及び広告等、教文☆ナビ）		市指定管理費(非公営) 258,703 市補助金 2,000
(2)事業目的	文化芸術及び教育活動の中心的な施設として、音楽、舞踊、演劇、美術等の制作及び発表の場に供し、それらの事業を行うことで、本市の舞台芸術の振興を図ることを目的とする。		
(3)事業開始	昭和52年(1977年)7月15日		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位: 千円)	項目	H29年度	H30年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		462,196 (16.9%)	449,694 (16.4%)	▲ 12,502
	市補助金・交付金・負担金	2,686	2,000	▲ 686	
	市業務委託料	0	0	0	
	市指定管理費	275,950	258,703	▲ 17,247	
	市施設利用料金収入	149,429	160,150	+10,721	
	自主事業収入 (補助金除く)	28,135	19,831	▲ 8,304	
	その他収入	5,996	9,010	+3,014	
費用 (支出)		462,329	450,324	▲ 12,005	
	事業費	424,872	429,908	+5,036	
	管理費等	37,457	20,416	▲ 17,041	
収支差		▲ 133	▲ 630	▲ 497	
収支比率		99.97%	99.86%	▲ 0.11%	
(2)活動指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	18事業	18事業	18事業	16事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	41事業	41事業	40事業	39事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	28事業	26事業	26事業	24事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	24事業	22事業	21事業	23事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	9事業	8事業	7事業	9事業
⑥					
(3)成果指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	大ホール利用率 (%)	78.3	83.0	81.0	82.0
②	総利用者数 (人)	481,727	580,000	587,577	580,000
③	利用者アンケート結果 (%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	93.9	92.0	92.3	92.0
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	施設の利用については、さっぽろ芸術文化の館の閉館に伴う影響を分析し、新たな利用者の開拓を行うなど、利用率の維持向上や収入確保に努める必要がある。 主催事業については、特に、伝統芸能の分野において、仮設能舞台の設備を活かし、外国人により広く魅力を伝える新たな取組を行った点について、高く評価できる。さらに利用者からの声については、前年度に引き続き、利用満足度が高水準を維持しており、適切な運営管理がなされていると評価できる。 施設・設備等の維持については、利用者の安全や利便性に配慮した備品改修や施設修繕を行っており、適切に運営がなされている。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	前年度と比較して指定管理費、自主事業収入が大幅減となっているものの、経費削減等により、引き続き収支均衡に努めている。施設の稼働率維持向上や収入確保に向けた取り組みが継続して必要である。

事業評価 (4) 札幌市民ギャラリーの管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課：市民文化局文化部文化振興課	担当：白川	電話：011-211-2261
(1)事業内容	①施設の管理運営 ②主催事業（30年度の主催事業は以下のとおり） <ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリー美術映画会（10回） ・教文13丁目笑劇一座出張公演（1日間） ・市民ギャラリーワークショップ「陶芸体験教室（3回）、七宝体験教室（3回）、冬休み子どもワークショップ（2回）」 ・夏休み子ども人形劇（1回） ・市民ギャラリー手づくり作品市場（1日間） ・市民ギャラリーコンサート（1回） ・札幌市立中央小学校50周年記念 笑顔のかけ橋コンサート（1日間） ・書っ！パフォーマンス～大きな筆で字を書こう！（1日間） ・春休み子ども映画会（1回） ・第47回札幌文化団体協議会フェスティバル・展示部門（3日間） ・第62回札幌市中学校美術・書道展（5日間） ・札幌圏大学生合同写真展 EX 16th（5日間） ・東地区オータムコンサート～クラシックライブ2018～（1回） 		市指定管理費（公募） 74,027
(2)事業目的	展覧会、展示会のための会場として市民の使用に供すること及び各種事業を行うことで、本市の文化芸術の振興に寄与することを目的とする。		
(3)事業開始	昭和57年(1982年)2月28日		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	H29年度	H30年度	(前年比)	
	収入		96,727	95,437	(▲ 1,290)
(経常収益比)		(3.5 %)	(3.5 %)		
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	73,972	74,027	(+55)	
	市施設利用料金収入	19,671	19,487	(▲ 184)	
	自主事業収入（補助金除く）	2,870	1,785	(▲ 1,085)	
	その他収入	214	138	(▲ 76)	
費用（支出）		92,629	93,600	(+971)	
	事業費	87,014	89,649	(+2,635)	
	管理費等	5,615	3,951	(▲ 1,664)	
収支差		4,098	1,837	(▲ 2,261)	
収支比率		104.42%	101.96%	(▲ 2.46%)	
(2)活動指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	4事業	4事業	4事業	4事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	8事業	8事業	9事業	8事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	3事業	4事業	5事業	3事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	5事業	4事業	5事業	4事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	1事業	1事業	1事業	1事業
⑥					
(3)成果指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	展示室の利用率（%）	84.8	85.0	84.0	85.0
②	入場者数（人）	140,699	135,000	138,313	135,000
③	利用者アンケート結果（%）（施設、職員対応等が「普通」以上の割合）	95.7	92.5	93.8	92.5
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 施設・設備等の維持については、法令を遵守し、適切に管理されているほか、利用者の利便性の向上を図る備品の調達等を行っている点について評価できる。 主催事業では、学校や町内会など地域団体と連携した事業を継続して実施し、新規事業を行うことで入場者数の計画を達成している。また、貸館事業については、公平性を確保しながらも、全ての申込団体が催事を開催できるように調整する等、利用者の要望に応えることで稼働率の維持向上に努めており、高く評価できる。 施設・設備等の維持については、利用者の安全や利便性に配慮した備品改修や施設修繕を行っており、適切に運営がなされている。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 収支差は前年度に引き続き黒字を維持しているほか、経費削減に努めたうえで本市が文化芸術基本計画に掲げる子ども向け事業に取り組む等、本市の施策に即した事業を展開しており高く評価できる。

事業評価 (5) 札幌市民交流プラザの管理運営事業

1. 事業概要	事業所管課：市民文化局文化部文化振興課	担当：白川	電話：011-211-2261
(1)事業内容	<p>①施設の管理運営 貸館事業、施設の維持管理等に関する開館準備、および開館後の運営</p> <p>②主催事業</p> <p>1 札幌文化芸術劇場に関する事業</p> <p>(1) 創造事業 グランドオペラ共同制作 ヴェルディ作曲 オペラ「アイダ」</p> <p>(2) 鑑賞事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新国立劇場バレエ団「白鳥の湖」 ・ユジャ・ワン ピアノリサイタル ・hitaru 午後のひととき(計2公演) ・市民交流プラザ開館記念連携事業 オペラの衣裳と舞台美術 煌く「アイダ」の世界 他2公演 ・クリエイティブスタジオ活用事業 Co. 山田うん「結婚」/山田うん コレクティブダンサーズ「春の祭典」 サミュエル・ベケット作「ゴドーを待ちながら」 スペクタクル3D能「平家物語」 他1事業 (3) 普及・育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・アイダ合唱団育成事業 ・新国立劇場バレエ団プリンシパルダンサーのピアノの生演奏による！ バレエ経験者向けワークショップ ・青少年向けバレエ鑑賞事業 ・公募企画事業 札幌舞踊会 創立70周年記念公演 バレエ「カルミナ・ブラーナ」 北海道二期会オペラ ヴェルディ作曲「椿姫」 他1事業 <p>2 札幌文化芸術交流センターに関する事業</p> <p>(1) 人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SCARTSアートコミュニケーション事業 説明会、講座(計10回) 実践活動 さっぽろアートステージ2018 対話型鑑賞サポート 他2回 ・SCARTSレクチャーシリーズ 開館記念シンポジウム「文化がつくる、地域のアイデンティティ」 「アートを届ける・人を育む、文化事業企画・運営の仕事」 他2講座 (2) 相談・調査研究事業 <ul style="list-style-type: none"> ・SCARTSインフォメーションカウンター ・文化芸術に関する情報発信 ・文化芸術活動サポートサービス ・対面相談サービス (3) 普及・発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・堀尾幸男 舞台美術展 乱反射 トークイベント、関連映像上映 日本舞台美術家協会ワークショップ(計2件) ・イタリアフェスタ ・ものづくりチャレンジDAY ・まちなかお昼のおんがくかい(計6公演) ・はじめましてクラシック～ヴァイオリン&ピアノ～ ・SCARTS×SOMES SADDLEものづくりの夜～北海道と馬と草～ ・連携事業 さっぽろアートステージ2018 他4事業 ・公募企画事業 Sapporo Photo2018札幌「写真都市」祭 第2マルバ会館 ムービング・ウィンター 他9事業 ・プレイイベント まちなかコンサート(豊平区、手稲区) <p>3 広報・利用促進に関する事業</p> <p>(1) 施設開館関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館記念式典等 開館記念式典、開館記念祝賀会、オープニングセレモニー ・施設運用シミュレーション 開館準備トレーニング、避難訓練コンサート (2) 広報 開館に向けた施設PR強化、広報印刷物の新規制作、ホームページの リニューアルを実施 (3) 利用促進 施設利用に関する冊子の発行、会員制度の構築及び募集、協賛制度の 構築及び募集を実施 		<p>市指定管理費(非公募) 1,181,162</p> <p>市負担金 8,550</p> <p>市委託料(随意契約) 8,802</p>
(2)事業目的	舞台芸術、音楽、美術等の企画、制作及び実施等を通じて、文化芸術活動及び生涯学習の振興と人々の来訪及び交流の促進を図ることにより、市民の創造性を育むとともに、市民生活の質の向上と地域のにぎわいの創出に寄与することを目的とする。		
(3)事業開始	平成28年(2016年)4月1日		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	H29年度	H30年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		388,790 (14.2 %)	1,466,214 (53.6 %)	(+1,077,424)
	市補助金・交付金・負担金	0	8,550	(+8,550)	
	市業務委託料	0	8,802	(+8,802)	
	市指定管理費	380,945	1,181,162	(+800,217)	
	市施設利用料金収入	0	99,788	(+99,788)	
	自主事業収入(補助金除く)	6,092	157,300	(+151,208)	
	その他収入	1,753	10,612	(+8,859)	
	費用(支出)	397,173	1,344,782	(+947,609)	
	事業費	336,564	1,249,809	(+913,245)	
	管理費等	60,609	94,973	(+34,364)	
	収支差	▲ 8,383	121,432	(+129,815)	
	収支比率	97.89%	109.03%	(+11.14%)	
(2) 活動指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	—	—	30 事業	4 事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	—	—	85 事業	43 事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	—	—	26 事業	10 事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	—	—	35 事業	7 事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	—	—	23 事業	9 事業
(3) 成果指標		H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績	R1年度目標
①	札幌文化芸術劇場ホール利用率 (%)	—	80.0	91.8	80.0
②	札幌文化芸術交流センター利用率 (%)	—	80.0	90.6	80.0
③	来館者数(図書・情報館含む)	—	500,000	1,129,107	1,200,000
④	利用者アンケート結果 (%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	—	80.0	95.2	80.0
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>貸館事業においては9割を越える稼働率を達成し、来館者数も目標を大幅に超える数値を達成している。劇場においては本格的なオペラやバレエなど、北海道発の多面舞台を活用した公演を行い、センターにおいても、多様な事業を行い、年齢性別等の属性に制限されること無く、多くの人を楽しめるイベントを行う等、有効に施設を稼働させ、市民が文化芸術に接する機会を創出している点が評価できる。開館初年度ということで特に注目を集め、来場者が多かったものと思われるが、今後も引き続き高い稼働率と来館者数を維持する取り組みを期待したい。</p>
(2) 収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>稼働率が高い半面、主催事業の割合が高く、貸館事業はまだ増やす余地があるものと思われる。今後は、貸館稼働率の向上等利用料金収入の確保に向けた取組を進めることで、収支改善を図る必要がある。</p>

貸借対照表
平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	903,452,982	585,017,723	318,435,259
未収金	118,735,571	92,940,695	25,794,876
未収収益	2,207,129	2,207,129	-
前払金	5,025,461	6,367,322	△1,341,861
仮払金	18,000	18,101	△101
立替金	226,004	239,674	△13,670
商品	21,615,697	25,037,222	△3,421,525
仕掛品	608,700	557,160	51,540
貯蔵品	61,326,844	59,078,076	2,248,768
流動資産合計	1,113,216,388	771,463,102	341,753,286
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	1,426,875	1,426,875	-
投資有価証券	79,784,800	79,784,800	-
基本財産合計	81,211,675	81,211,675	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	134,388,267	125,098,734	9,289,533
基金引当資産	903,514,518	906,318,518	△2,804,000
器具備品	815,156	1,086,876	△271,720
特定資産合計	1,038,717,941	1,032,504,128	6,213,813
(3) その他固定資産			
建物	896,777	3,404,059	△2,507,282
車両運搬具	1,338,355	2,006,528	△668,173
器具備品	35,802,077	41,039,513	△5,237,436
美術品	1,920,000	1,920,000	-
ソフトウェア	12,760,593	16,261,478	△3,500,885
敷金	404,500	309,500	95,000
その他固定資産合計	53,122,302	64,941,078	△11,818,776
固定資産合計	1,173,051,918	1,178,656,881	△5,604,963
資産合計	2,286,268,306	1,950,119,983	336,148,323
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	254,982,248	164,859,292	90,122,956
未払費用	52,664,563	42,195,219	10,469,344
未払法人税等	3,642,200	1,776,000	1,866,200
未払消費税等	34,432,700	14,519,700	19,913,000
前受金	267,555,976	141,436,168	126,119,808
預り金	37,964,872	46,033,078	△8,068,206
流動負債合計	651,242,559	410,819,457	240,423,102
2. 固定負債			
退職給付引当金	134,388,267	125,098,734	9,289,533
固定負債合計	134,388,267	125,098,734	9,289,533
負債合計	785,630,826	535,918,191	249,712,635
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金等	841,920,139	844,724,139	△2,804,000
寄付金	89,876,235	90,147,955	△271,720
指定正味財産合計	931,796,374	934,872,094	△3,075,720
(うち基本財産への充当額)	(81,211,675)	(81,211,675)	-
(うち特定資産への充当額)	(850,584,699)	(853,660,419)	△3,075,720
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(53,744,975)	(53,744,975)	-
正味財産合計	1,500,637,480	1,414,201,792	86,435,688
負債及び正味財産合計	2,286,268,306	1,950,119,983	336,148,323

正味財産増減計算書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	240,000	240,000	-
基本財産受取利息	240,000	240,000	-
② 特定資産運用益	9,164,997	10,135,008	△970,011
特定資産受取利息	9,164,997	10,135,008	△970,011
③ 事業収益	3,641,934,181	2,604,128,949	1,037,805,232
受取指定管理費	2,785,535,065	1,973,005,000	812,530,065
利用料金収益	499,740,537	399,172,379	100,568,158
利用取消手数料収益	-	1,638,150	△1,638,150
受講料収益	36,598,620	30,210,680	6,387,940
入場料収益	194,250,804	136,642,950	57,607,854
商品売上金収益	14,067,475	17,308,094	△3,240,619
出品料収益	1,053,005	2,192,397	△1,139,392
受託販売手数料収益	11,694,135	15,396,599	△3,702,464
広告料収益	58,646,000	16,604,000	42,042,000
見学科収益	267,000	-	267,000
受託業務収益	8,802,000	-	8,802,000
管理許可等収益	28,072,211	11,888,939	16,183,272
共催事業決算金収益	3,207,329	69,761	3,137,568
④ 受取補助金等	77,853,924	93,605,075	△15,751,151
受取地方公共団体補助金	35,305,424	35,426,000	△120,576
受取民間補助金	-	1,500,000	△1,500,000
受取民間助成金	23,767,500	21,179,075	2,588,425
受取国庫助成金	18,781,000	35,500,000	△16,719,000
⑤ 受取負担金	30,798,746	15,914,405	14,884,341
受取負担金	30,798,746	15,914,405	14,884,341
⑥ 受取寄付金	481,720	3,123,124	△2,641,404
受取寄付金	210,000	3,100,000	△2,890,000
特定資産受贈益振替額	271,720	23,124	248,596
⑦ 雑収益	9,595,378	6,750,092	2,845,286
雑収益	9,595,378	6,750,092	2,845,286
経常収益計	3,770,068,946	2,733,896,653	1,036,172,293
(2) 経常費用			
① 事業費	3,659,804,220	2,765,097,230	894,706,990
役員報酬	12,555,000	12,555,000	-
給料手当	621,414,021	570,606,491	50,807,530
賃金	288,231,433	235,061,726	53,169,707
退職給付費用	17,533,675	17,911,508	△377,833
福利厚生費	152,589,333	133,150,533	19,438,800
旅費交通費	49,699,420	58,325,971	△8,626,551
通信運搬費	23,059,602	19,994,554	3,065,048
減価償却費	26,201,064	27,294,624	△1,093,560
消耗什器備品費	3,534,818	4,230,702	△695,884
商品売上原価	11,836,628	11,538,644	297,984
消耗品費	98,642,602	77,191,085	21,451,517
図書費	321,375	419,787	△98,412
修繕費	13,769,233	31,181,041	△17,411,808
印刷製本費	81,472,447	59,384,750	22,087,697
燃料費	27,749,699	25,103,562	2,646,137
光熱水費	432,975,284	246,506,968	186,468,316
賃借料	30,774,105	37,100,381	△6,326,276
保険料	3,456,098	2,459,884	996,214
諸謝金	253,223,832	189,095,044	64,128,788
報償費	5,433,988	5,020,212	413,776
交際費	14,400	18,000	△3,600
食糧費	8,933,108	4,545,100	4,388,008
広告料	47,045,903	53,912,295	△6,866,392
手数料	19,182,286	16,762,781	2,419,505
租税公課	91,766,380	70,012,811	21,753,569
支払負担金	114,342,921	26,803,663	87,539,258
支払寄付金	10,256,414	4,021,920	6,234,494
委託費	1,185,710,024	812,983,986	372,726,038
管理許可等費用	28,072,211	11,888,939	16,183,272
雑費	-	11,718	△11,718
雑損失	6,916	3,550	3,366

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費	13,054,470	14,378,169	△1,323,699
役員報酬	1,395,000	1,395,000	-
給料手当	5,537,094	6,293,865	△756,771
賃金	472,347	464,101	8,246
退職給付費用	155,258	255,022	△99,764
福利厚生費	1,272,826	1,510,186	△237,360
旅費交通費	214,404	197,781	16,623
通信運搬費	224,704	216,404	8,300
減価償却費	73,800	78,270	△4,470
消耗什器備品費	38,674	-	38,674
消耗品費	109,655	93,072	16,583
図書費	1,641	6,813	△5,172
修繕費	-	2,797	△2,797
印刷製本費	106,754	128,821	△22,067
賃借料	517,925	520,963	△3,038
保険料	24,250	24,250	-
諸謝金	21,600	-	21,600
報償費	2,754	14,019	△11,265
交際費	1,000	2,000	△1,000
食糧費	8,665	8,358	307
広告料	183,700	118,680	65,020
手数料	299,066	437,715	△138,649
租税公課	2,680	2,490	190
支払負担金	58,935	56,204	2,731
委託費	2,331,738	2,551,358	△219,620
経常費用計	3,672,858,690	2,779,475,399	893,383,291
当期経常増減額	97,210,256	△45,578,746	142,789,002
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	4,056,648	169,420	3,887,228
建物除却損	4,056,648	-	4,056,648
器具備品除却損	-	169,420	△169,420
経常外費用計	4,056,648	169,420	3,887,228
当期経常外増減額	△4,056,648	△169,420	△3,887,228
税引前当期一般正味財産増減額	93,153,608	△45,748,166	138,901,774
法人税、住民税及び事業税	3,642,200	1,776,000	1,866,200
当期一般正味財産増減額	89,511,408	△47,524,166	137,035,574
一般正味財産期首残高	479,329,698	526,853,864	△47,524,166
一般正味財産期末残高	568,841,106	479,329,698	89,511,408
II 指定正味財産増減の部			
(1) 基本財産運用益	240,000	240,000	-
基本財産受取利息	240,000	240,000	-
(2) 特定資産運用益	9,313,597	9,798,708	△485,111
特定資産受取利息	9,313,597	9,798,708	△485,111
(3) 特定資産受贈益	-	1,110,000	△1,110,000
器具備品受贈益	-	1,110,000	△1,110,000
(4) 特定資産評価損	2,952,600	4,174,600	△1,222,000
特定資産評価損	2,952,600	4,174,600	△1,222,000
(5) 特定資産償還損	-	652,700	△652,700
特定資産償還損	-	652,700	△652,700
(6) 一般正味財産への振替額	△9,676,717	△10,398,132	721,415
一般正味財産への振替額	△9,676,717	△10,398,132	721,415
当期指定正味財産増減額	△3,075,720	△4,076,724	1,001,004
指定正味財産期首残高	934,872,094	938,948,818	△4,076,724
指定正味財産期末残高	931,796,374	934,872,094	△3,075,720
III 正味財産期末残高	1,500,637,480	1,414,201,792	86,435,688